



Red square seal impression with illegible characters.

Red square seal impression containing the date: 十月三日 (October 3rd).

Large red square seal impression, likely a library or collection stamp.

Faint vertical text on the right side of the left page, possibly a page number or title.





何もくろ

地  
鎮



紀伊宰相總教  
從三位  
常陸

女前  
水軍  
保連  
戸田  
鎮



御受鷹  
御受鷹  
御受鷹

志賀  
鎮

松平仁十郎信清  
水初七千石

小林  
鎮



御受鷹  
御受鷹  
御受鷹

山崎  
鎮



御受鷹  
御受鷹  
御受鷹

山崎  
鎮

當城  
從者  
三ヶ國

素山法師

淡野紀伊守章長  
但馬守長景

世  
石

紀伊大納言教宣卿

世  
石

紀伊大納言光貞卿

世  
石

新宮山伏

戸  
里

水野去作守

三  
石

堀内安房守

世  
石

淡野氏

世  
石

水野出雲守重仲

世  
石

對馬守重直

世  
石



▲天子高山山部乃由多 山部乃由  
平城帝 花山院 白川院 三山五度  
後白川院 三山一度 多持院 三山八度

▲慈聖持現乃由奇

後三義  
多持院乃由奇乃由章三十三度  
多持院乃由奇乃由章三十三度  
多持院乃由奇乃由章三十三度  
多持院乃由奇乃由章三十三度

栗嶋大由神

▲祭神 一 座 少彥命

貴命 乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度

帳通神社

田部

大王乃慈聖也神祇七坂曲神  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度

丹生神社

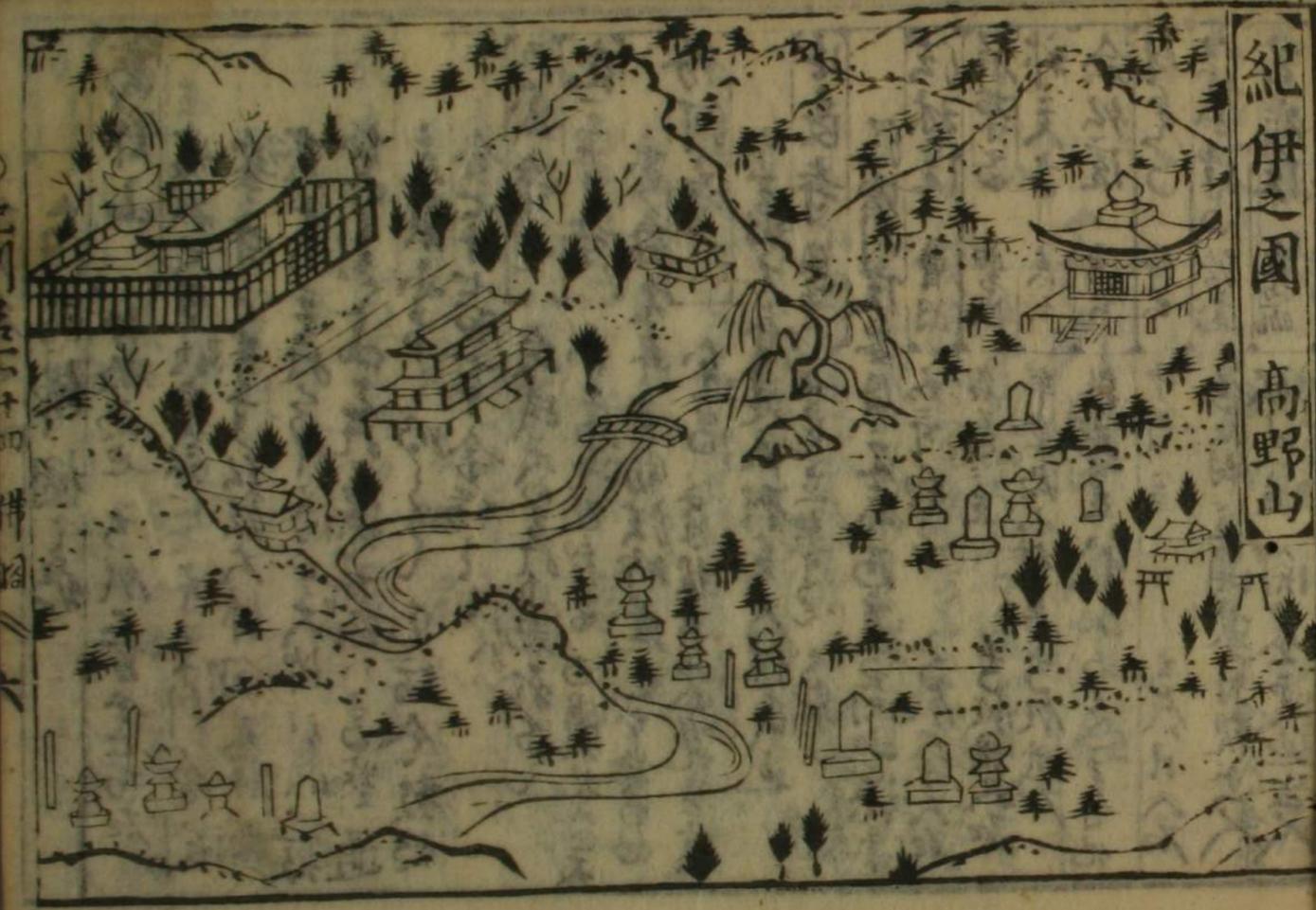
▲祭神 一 座 天母生神

乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度

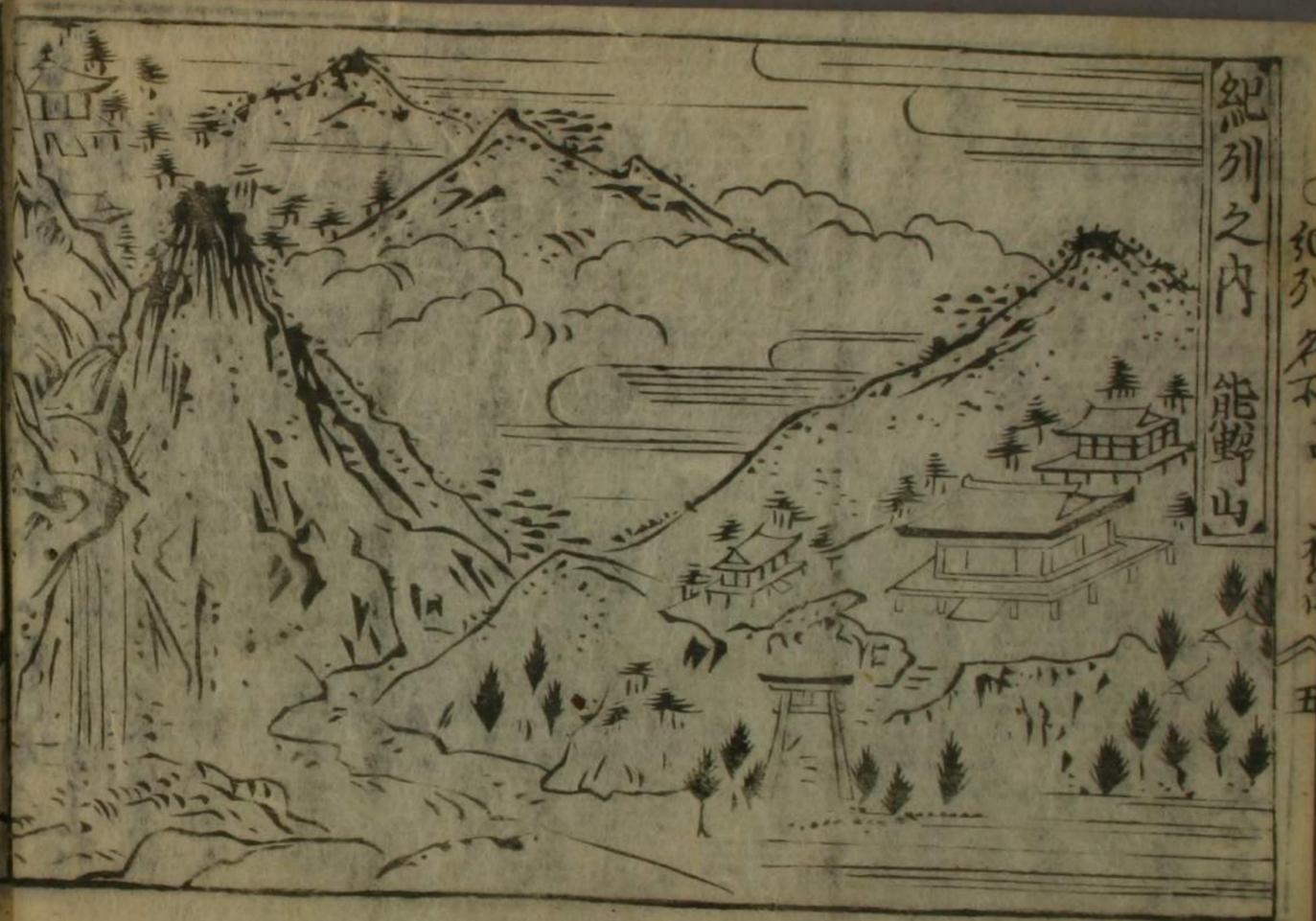
乃由奇

乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度  
乃由奇乃由章三十三度





紀伊之國  
高野山



紀伊之内  
能登山

△河國佛樹之類

高野山

修驗所也 古伝二万七千七百石

源成天皇御宇弘仁七年草創金剛峯寺と号す弘法大師開基山廟

靈なりと云ふなり 大師の御記に

たのむと云ふ山と云ふ名は古伝ハ高野通

と云集ふと云ふなり 凡指令教始

合七千七百七十金坊と云

乃成寺

文武天皇御宇乃成寺と云

紀三井寺

本寺西國紀三井寺 西國紀三井寺

粉河寺

本寺西國紀三井寺 西國紀三井寺

由良寺

由良寺 由良寺 由良寺

法林院

曹洞 法林院 曹洞

名草寺

曹洞 名草寺 曹洞

林文寺

曹洞 林文寺 曹洞

会松院

曹洞 会松院 曹洞

林光寺

曹洞 林光寺 曹洞

法華寺

曹洞 法華寺 曹洞

吉祥院

曹洞 吉祥院 曹洞

多寶院

曹洞 多寶院 曹洞

不動院

曹洞 不動院 曹洞

△紀列國中名所之類

宇治山

宇治山 宇治山 宇治山

今春乃山

今春乃山 今春乃山 今春乃山

系麻山

系麻山 系麻山 系麻山

木蔭山

木蔭山 木蔭山 木蔭山

かゝり山

かゝり山 かゝり山 かゝり山

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...





ふらふら 江ノ浦 舟 舟 舟 舟

かき江ノ浦

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

五ノ浦

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟ノ浦

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

吹井の浦

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟ノ浦

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟ノ浦

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟ノ浦

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟ノ浦

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟ノ浦

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟ノ浦

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟ノ浦

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟ノ浦

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟ノ浦

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟ノ浦

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

尾野の川米長川の流合を百せふからぬらん

石より川

或ハリヤ川

玉川

山成橋津武彦近の奥列

山成橋津武彦近の奥列

紀乃川

▲紀列和奇山々大坂と乃法

善山山中 一里半 いり坂より一里の

山中山口 一里半 いり坂より一里の

山山口 一里半 いり坂より一里の

子山口 一里半 いり坂より一里の

加の井安松 八丁

安松依野市場 一里 いり坂より一里の

依野市場貝塚 十八丁 いり坂より一里の

貝塚石津 十八丁 いり坂より一里の

岸和岡石津 三里 いり坂より一里の

栗大坂 三里 いり坂より一里の

▲紀列西中名物出所

小麦皮皮 楢殻殻 楊梅梅 粟粟

延命酒酒 麦粉粉 紀伊伊

川製 〇〇 煖代々 鳥帽子貝

物 〇〇 蛤 〇〇 〇〇

海雲 〇〇 網 〇〇 大鏡 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

### 大日本南海道 六箇國之門

淡路國 淡列 上管二般四房一月 國母方二程物主

津名 三系 六傳 後傳 知行高六分三厘六厘七厘

當國領元 津城 〇〇 〇〇 〇〇

當國者 天正 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

仙石 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

脇坂 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

他田 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

松平 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇

蜂須賀 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇



法隆寺 長一里 後修り得

大和橋 房列の末末を譲り 高木多助 ありける

野崎の橋 房列の末末を譲り 高木多助 ありける

武蔵野 眞し巻し 辛標 桑標

大月 中南海道 六箇四の

阿波國 何列 上段九那回方二日

三好 麻植 各末 各西 勝浦

松平 淡路守 綱張 後

當國 漁場と御城主

知行 高十八方六千七百六十石

蜂須賀 加茂之助

蜂須賀 貞徳 隆重

加藤 正元 長

山田 守吉

蜂濱賀 右松平氏家系

源家政長門守 法名透禱 至鎮阿波守 忠英松平阿波守 光隆阿波守

隆重松平賀

女子二人

井伊女番公室  
松平大學公室

女子

藏人

綱通從四位下侍從  
阿波守

隼人

某賀茂之助

經矩

阿波守從四位下侍從  
父蜂濱賀式部少輔  
養父徒弟阿波守

當城荒丘 天正三年四月十八日

蜂濱賀長尾忠景

廿五万石  
元和元年領地國並

阿波守至鎮

同日

松平阿波守忠英

同日

阿波守光隆

同日

阿波守經通

同日

阿波守經矩

同日

當城主

當國神代官

未吉勅書

三百俵

阿波國分神社本

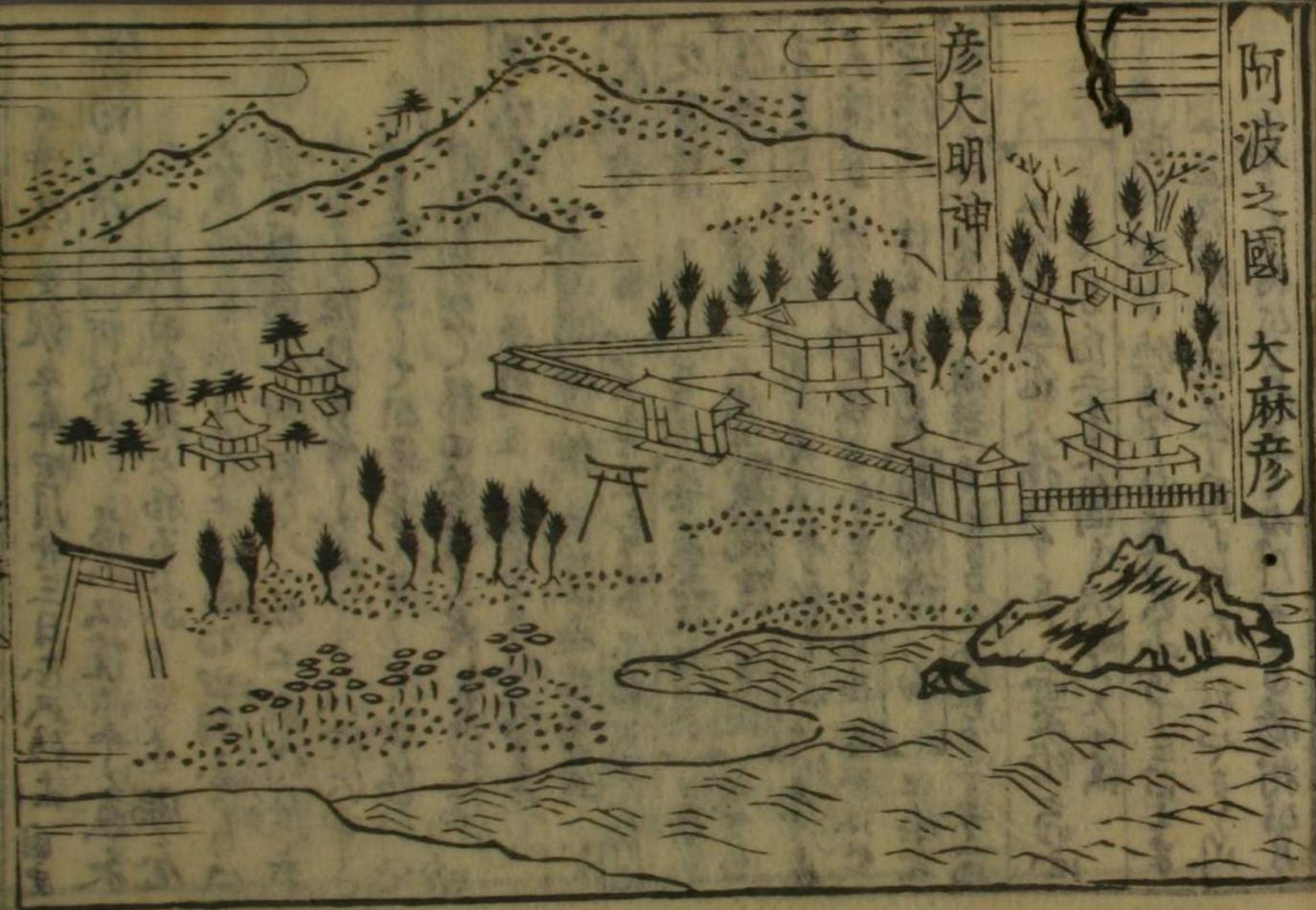
大麻彦大明神

板聖形

當國宮

祭神猿田彦命

阿波之國 大麻彦



水并

△神位 貞觀九年四月廿三日正位上 國史  
新田の村 河原郡 後小松院(寺) 後永  
年中新田武義少将家宗 貞貞直胤 胤元  
大為作爲信者助子也 其後胤元胤元  
國に據る一河野乃一様云 胤元胤元  
と云く 胤元胤元が河野のこゝに終ひ申す  
と云はれりて 新田の村と号し 胤元胤元  
牛次天王 徳作主 後永牛次天王

△富西佛棚 五箇山通孔富西  
其如寺 天台 冥多三本寺 不動無天大所化  
中里村 安養院 曹洞 言田村  
文殊院 天台 大深堂 成徳院 曹洞 板野村  
徳勢寺 曹洞 岩子橋三立号仏坐山 天正年中建  
東光寺 曹洞 久保堂 本寺河原院 安河原院  
美津寺 浄土 松山村 西福寺 一向 任奈堂  
正法院 浄土 廣徳堂 本寺 土西院 寺堂院  
板好院 山伏

△四圍色乳八指八ヶ寺 雲雲地 高徳  
く分凡二十三箇 次第乃法  
△河列地下 徳徳より 是又少寺と云ふ  
△徳徳依古册九丁目より 右 新やま川  
△やま川村 比呂沢あり 内川 寺 橋村山

小とせ川 志やま川 村山 山  
川 寺 大河 舟 舟  
△雲雲山寺 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野

一 板野 板野 板野 板野 板野 板野  
二 板野 板野 板野 板野 板野 板野  
三 板野 板野 板野 板野 板野 板野  
四 板野 板野 板野 板野 板野 板野  
五 板野 板野 板野 板野 板野 板野  
六 板野 板野 板野 板野 板野 板野  
七 板野 板野 板野 板野 板野 板野  
八 板野 板野 板野 板野 板野 板野  
九 板野 板野 板野 板野 板野 板野  
十 板野 板野 板野 板野 板野 板野

△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野

△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野

△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野

△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野

△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野

△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野  
△板野 板野 板野 板野 板野 板野

八番 慈光寺 一里 聖衣あり  
阿波郡あり村 南面太田山  
立像六尺六寸 他ふふ如

九番 法橋寺 十八丁  
阿波郡 南面平地  
立像一尺一寸 他ふふ如

十番 切橋寺 秋月村  
阿波郡 南面  
立像一尺一寸 他ふふ如

十一番 養井寺 大原庄  
阿波郡 南面  
立像一尺一寸 他ふふ如

十二番 護山寺 大原庄  
阿波郡 南面  
立像一尺一寸 他ふふ如

十三番 常楽寺 南面  
阿波郡 南面  
立像一尺一寸 他ふふ如

十四番 國分寺 八町  
阿波郡 南面  
立像一尺一寸 他ふふ如

十五番 観音寺 南面  
阿波郡 南面  
立像一尺一寸 他ふふ如

十六番 観音寺 南面  
阿波郡 南面  
立像一尺一寸 他ふふ如

十七番 井云寺 南面  
阿波郡 南面  
立像一尺一寸 他ふふ如

十八番 慈光寺 南面  
阿波郡 南面  
立像一尺一寸 他ふふ如

十九番 立江寺 大原庄  
阿波郡 南面  
立像一尺一寸 他ふふ如

二十番 立江寺 大原庄  
阿波郡 南面  
立像一尺一寸 他ふふ如

二十一番 立江寺 大原庄  
阿波郡 南面  
立像一尺一寸 他ふふ如

二十二番 立江寺 大原庄  
阿波郡 南面  
立像一尺一寸 他ふふ如

二十三番 立江寺 大原庄  
阿波郡 南面  
立像一尺一寸 他ふふ如

二十四番 立江寺 大原庄  
阿波郡 南面  
立像一尺一寸 他ふふ如

古蹟也。奥院山乃木殿小一丈乃其六  
若庭階四より此内より此内流之流く  
おろしそ神宮ありそ神宮の

廿一番 大徳寺 勝浦郡の門と白たかの村  
おき 地蔵 五福と三入 大徳寺也

廿一番 大徳寺 一里半 大徳村中川  
おき 大徳寺 一里半 大徳村中川

廿二番 平吉寺 那賀郡わさ村 南西後山  
おき 茶臼 庭縁と二入 大徳寺也

廿二番 茶臼 大徳寺也  
おき 茶臼 庭縁と二入 大徳寺也

右武指三ヶ所河内國分あり是より廿四  
番云作國東より廿一里門十里ハ作  
分ありそ是れ山若岩窟古寺田堂下  
くろ名後基つておまぬの所小多ハ  
河中ハ源流中おとそ是れ此所の名也

又おきとて多礼のつめ小多あり是  
らけしとて此小川とけりそ河内國分  
おきとておまぬの所小多ハ作  
作とておまぬの所小多ハ作  
ありそ是れおまぬの所小多ハ作  
中りそ是れおまぬの所小多ハ作  
佐治とておまぬの所小多ハ作  
▲の孫浦入小多とて并大徳寺あり  
おきとておまぬの所小多ハ作  
佃和とておまぬの所小多ハ作  
番町とておまぬの所小多ハ作  
おきとておまぬの所小多ハ作  
▲國はつておまぬの所小多ハ作  
つとておまぬの所小多ハ作  
河内國分とておまぬの所小多ハ作

河内國分 河内國分

河内國分 河内國分

河内國分 河内國分

阿波國 阿波國 阿波國

多島 阿波國 阿波國 阿波國

阿波國 阿波國 阿波國 阿波國

大日本南海道

阿波國

中管七段東南二月  
山形又數繞熱  
田敷六百七十三町

各川 他各 多島

長尾 畑 香炎

知行高二十万二千六百廿七石

當國高知小城之 七里

松平公作守豐島

山川久志

相向兵庫

深尾若後

回回 白 散 山





從四位下四品  
松平氏初大將豐房

山内  
右松平氏津家系  
久由嶋信濃守室  
山内三郎右衛門守  
本多中務大捕室  
真田伊賀守室

此是山内對馬守一盤  
天正十八年為之立別屋川之城至六万石  
▲長五五年月同為云依國守和之城至  
北万石石 自是代之相續之為高直城也

藤忠義 但馬守 忠豐 對馬守 女子四人

豐昌 侍從 女子二人  
京極備中守室  
豐房 兵部大捕 阿部對馬守室

當城先主之御孫

長曾我部氏 依  
同 依守元親  
同 依守一豐  
同 依守忠義  
同 依守忠豐  
同 依守豐昌

當城  
同 依守豐昌 同 依守  
同 依守忠豐 同 依守  
同 依守忠義 同 依守

云依國中神社

高鴨大明神 是味根託廣根金  
大依風去紀云云依依依依乃西四里七  
去て去依依依依依依依依依依依依

山内 貞觀元年三月廿六日上 祿階元  
香川 貞 天智天皇御宇 大建立  
多知立 定和年中 長茂依依建立

物倉神社  
云八幡宮  
同 四佛櫃

弘法寺 真言  
慈徳院 真言  
法海院 真言  
同 國魚凡八十八ヶ所 同 國魚凡一  
十六ヶ所 一決也

廿四番 東寺  
又号之藤崎寺 安永初 豐南尚  
秘佛 大陣直他

此寺の女人禁制乃地多級是之り其町亦  
上之村下之村云云女人の礼打也  
海多波云々以津島浦之出之男八間坊堂  
より七下也云々上之り其山嶽小石洞

又漢人其後見此山者多種其形  
と極似たりと云ふ乃其山なりと云ふ  
凡そ此山一尾より遊寺へ一里と云ふ  
より坂を登りて此山頂に在りて其山頂  
より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂  
より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂  
より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂

廿八番 西寺金剛頂寺 安長殿 山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ

廿七番 神峯寺 安長殿 山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ

廿六番 大日寺 安長殿 山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ

廿九番 四分寺 安長殿 山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ

卅番 一宮寺 安長殿 山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ

卅一番 又基山 安長殿 山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ

卅二番 又基山 安長殿 山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ

卅三番 又基山 安長殿 山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ

卅四番 又基山 安長殿 山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ

卅五番 又基山 安長殿 山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ

卅六番 又基山 安長殿 山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ此山頂に在りて其山頂より南へと云ふ

▲本寺 茶師 秘傳 仍基也

世六番 是より馬形寺と 二里半 ▲秘傳浦入海心  
▲本寺 不効 秘傳 大所 山ノ寺有白

世七番 仁井田神社 高岳山長久村堂亦白

▲本寺 不効 秘傳 大所 山ノ寺有白

云作國中名所之記

新集 三島

去作山

我唐の三島山... 其の形は月の形なり

去作の海

其の海は乃浦と云ふなり

去作の山

其の山は乃浦と云ふなり

去作の川

其の川は乃浦と云ふなり

去作の川

其の川は乃浦と云ふなり

當國名物出所

狗 小物也... 藤 四葉也... 鯉 魚也... 鱈 魚也... 鱒 魚也... 鱈 魚也... 鱈 魚也...

鱈 魚也... 鱈 魚也... 鱈 魚也... 鱈 魚也... 鱈 魚也...

鱈 魚也... 鱈 魚也... 鱈 魚也... 鱈 魚也... 鱈 魚也...

鱈 魚也... 鱈 魚也... 鱈 魚也... 鱈 魚也... 鱈 魚也...

鱈 魚也... 鱈 魚也... 鱈 魚也... 鱈 魚也... 鱈 魚也...

鱈 魚也... 鱈 魚也... 鱈 魚也... 鱈 魚也... 鱈 魚也...

石去作國分望

大日本南海道

石去作國分望

倭國

倭國

上島は十四段四方二日... 系野田畑及び桑麻... 田敷を方四子八百六十

新居

用皮

桑村

然智

月半

聖間

智羅

檀泉

久末

淳元

倭國

桑村

然智

月半

淳元

當國名物出所

或今和傳と云... 此島は海濱二百七十八里

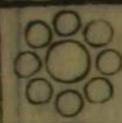
伊達遠江守宗昭

伊達遠江守宗昭

伊達遠江守宗昭

伊達遠江守宗昭

伊達遠江守宗昭



Vertical text on the left edge of the page.

一由先仙基中納云政宗長男伴直在江  
 守秀宗於長十九年占与列板橋乃城主  
 自乞相讓乃高田城城主或城主付也  
 一由先仙基與列仙基此城主一系

一當城先主之江守宗

戶田民被女補 天正年中

辰堂和泉守高虎 長文十三年

富田信濃守 同十九年 十方石

伴直在江守秀宗 同

同 友永亮宗時 同

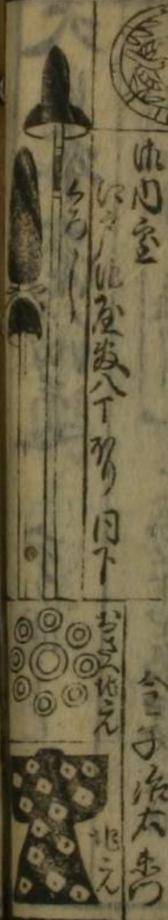
同 志江守宗利 七方石 友永亮宗時  
 外三五方石才文曰女補配分乃高田

當城主 志田信直 志江守宗服 同

同 吉田水成主 江戸分海陸及ハ每路  
 大坂分而北至大坂分  
 江戸上二四里合二百九十九里也  
 再經百三十八里江戸上陸路大合二百七十三里

伴直合之介 新莊方  
 常川城庄  
 今于治太門

水内室 水内室八丁下



一由先伴直在江守宗利或伴直  
 宗純始乃同志吉田信直 三方石  
 同能志吉宗保 水内室田村右宗保  
 日由婿合之介相讓乃高田城主 同  
 一由先系與列仙基此城主一系

同 大洲水成主 江戸分海陸二百廿一里

加藤遠江守恭實 大橋刑殿  
 如友氏被  
 同 新莊方

水内室河井河内古林

江戸水内室下高田如友  
 日中白柳系 同下龜野



同 新吾水成主 又云田子 江戸分海陸二百廿重

加友織部 恭忠 如友八方石  
 德田信直

水内室織田相控古林

江戸水内室發白雲町  
 日中 同下  
 波本中三石



同 加友官田恭佐 如友氏被  
 同 新莊方

馬

▲此苑如友近古史貞泰昔年為伯列未  
子孫之 ▲元和三年日皇傳令國大例  
而久是乃相續為苗山城自今次成山城  
付し如し

▲右加藤氏御家系

藤原光泰

遠江守

貞泰

遠江守

兼興

出羽守

兼義

兼作守

直泰

織部正

兼忠

兼作守

兼位

大七郎

兼實

遠江守

▲大洲城先主之次子

天正十三年 石

戸田民部少輔

夏堂和泉守多虎

瑞波中勢女胸安治

同 浪海守 安元

加茂友近古史貞泰

同 出羽守 兼興

同 志江守 兼實

同 志江守 兼實

賞城主

四 松山沖城

條上條海濱一里十七下龍三三條分大坂  
八十三里大坂分江戶上條修百三三三

松平隆政守之遺品

此物十段方及

此物之柄末丹段有柄

源定勝

定吉

定賴

定綱

定直

定常

定行

定寛

定長

定重

定重

某

定常

定行

定寛

定寛

定房 兼守 定經 肥前守 定時 兼守 定信 河守  
 定次 能守 定知 數馬 某 兼守 某 兼守 兼守  
 女子 松平若狹守室 某 兼守 兼守 兼守  
 定直 實父 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守

當城 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守  
 某 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守

當城 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守  
 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守

和藤 左馬助 喜明 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守  
 松平 中務 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守  
 松平 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守  
 日 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守  
 日 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守  
 日 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守

關 今張 沖城 之 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守

松平 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守  
 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守  
 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守

松平 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守  
 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守

松平 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守  
 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守

當城 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守  
 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守

藤堂 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守  
 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守  
 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守

西條 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守  
 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守 兼守





四十五番

観月寺

徳列地へ入る小山村敷下まで切立  
路に△山あり村華やかけり河筋わたり  
△中野 茶師 坐落長一尺二寸 坐落長一尺  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸

四十六番

観音寺

坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸

四十七番

佛木寺

坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸

四十八番

明石寺

坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸

四十九番

養生山

坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸

五十番

岩屋寺

坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸

五十一番

不勤

坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸

五十二番

不勤

坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸  
坐落長一尺二寸 坐落長一尺二寸

上野仲小伴乃小富云乃...  
とて又該河乃家小田とて...  
けさすく乃此乃物取金札を...  
くらに習をく...  
て用を乃...  
四十六番 津福徳寺 改定教津村 築地東向

△中寺 茶師 松林 築地北  
尾より八坂寺とて 五丁

四十七番 八坂寺 改定教八坂村 築地東向  
△中寺 何路位 築地三尺 恵心池

これより西林寺まで一里 △恵心寺村  
大陣堂を村乃西に在り神のみ八ノ  
師之石出立縁起小寺 △小村 築地西向  
改定教多井村 築地南向

四十八番 西林寺 改定教三尺 大陣位  
△中寺 十一西 築地三尺 大陣位

四十九番 津云寺 改定教多井村 築地南向  
△中寺 釈迦 松林 築地北  
尾より八坂寺とて廿六丁 △大井村小川二階位

五十番 福多寺 改定教三尺 築地北  
△中寺 茶師 築地三尺 築地北  
尾より石出寺とて廿丁 △下る所

五十一番 石出寺 改定教石出村 築地東向  
△中寺 茶師 築地三尺 築地北  
尾より石出寺とて二里 △河野古殿の  
法今村とて寺ありと外堀を築き乃氏  
祚藤の社を祀り乃寺ありと乃氏  
乃湯の日記記小伴ありと乃氏あり  
代々乃氏ありと乃氏ありと乃氏あり  
湯乃湯に張りし二の湯の今三の湯に  
中入の男を乃氏ありと乃氏ありと乃氏あり  
井二井ありと乃氏ありと乃氏ありと乃氏あり  
中乃石を乃氏ありと乃氏ありと乃氏あり

伴 石出の湯の井に乃氏ありと乃氏ありと乃氏あり  
ゆけ乃乃奇  
伴 石出の湯の井に乃氏ありと乃氏ありと乃氏あり

伴 石出の湯の井に乃氏ありと乃氏ありと乃氏あり

伴 石出の湯の井に乃氏ありと乃氏ありと乃氏あり

五十二番 大山西 改定教六尺二寸 築地北  
△中寺 十二西 築地六尺二寸 築地北

五十三番 赤明寺 改定教和泉郡赤明村 築地南向  
△中寺 十八町 築地十八町

五十四番 赤明寺 改定教和泉郡赤明村 築地南向  
△中寺 十八町 築地十八町

▲**廿四番** 殊院 立像長三尺二寸 乃基北  
村、町橋ありてうら坂藤木又師堂  
▲**廿五番** 村番所立切石改び 縣村  
定小松山北乃通り十里と云一里堀を  
山上南白

▲**廿六番** 三徳宮 坐像三尺 乃基北  
これより別まを二里 ▲**廿七番** 乃基  
乃おれ可し三徳ハ流上七里乃基乃基  
平北東向

▲**廿八番** 通智勝佛 三徳ハ村社記入  
坐像三尺 乃基北  
坐像三尺 乃基北  
坐像三尺 乃基北

▲**廿九番** 八幡宮 坐像三尺 乃基北  
坐像三尺 乃基北  
坐像三尺 乃基北

▲**三十番** 依礼山 坐像三尺 乃基北  
坐像三尺 乃基北  
坐像三尺 乃基北

▲**三十一番** 圓分寺 坐像三尺 乃基北  
坐像三尺 乃基北  
坐像三尺 乃基北

▲**三十二番** 香苑寺 坐像三尺 乃基北  
坐像三尺 乃基北  
坐像三尺 乃基北

▲**三十三番** 一之宮 坐像三尺 乃基北  
坐像三尺 乃基北  
坐像三尺 乃基北

▲**三十四番** 吉祥寺 坐像三尺 乃基北  
坐像三尺 乃基北  
坐像三尺 乃基北

▲**三十五番** 石燈山 坐像三尺 乃基北  
坐像三尺 乃基北  
坐像三尺 乃基北

▲**三十六番** 石燈山 坐像三尺 乃基北  
坐像三尺 乃基北  
坐像三尺 乃基北



當國高松沖城主



源氏足後俊高松重安水戸相公  
松平俊政守頼常女將  
明和十二年石

松平外記  
谷 邦監  
大久保重利



内内室 酒井河内吉味  
江戸赤松重安 芝元礼过  
中 芝元礼海子  
目下 目下 目下

内城使  
伴友成  
戸田云云  
清村文左衛



宝のり



松平右衛門

押友成 比元

▲水差松平右衛門史載重安永十六年為  
常列下波淺主 五万石 ▲寛永十九年同  
為俊列高松城主 号松平俊政当十三万石  
是合相後為高松城主 同高

當城先主水次史

當國天正十三年 出御石松松平家  
三原城主 以次

生約雅樂以近世 十七万石

生約 俊政守一正 同高

同 壹政守高俊 同高

松平 俊政守頼重 同高

同 俊政守頼常 同高

同 丸尾沖城主

江戸市南十里

京極 縫殿高成  
小知 六万二千石

佐々九郎重  
及堂 左門  
本家 右左

内内室 江戸内左衛 三所  
同中 別地

河村常左衛  
之浦 左衛



京極 喜内高昌

林市左衛  
小津 右衛



内内室 小知 三万石 大内  
江戸内左衛 三田新堀  
同下

小江 右衛  
山崎 右衛







讚岐之國 今比良山

任勢大和河内流渡五山三後と白鳥  
乃而渡し号す之を外河小具迹あり  
▲田代不云日本武志乃具伴て白鳥と  
多門て而不飛く候列不止と云く 神社考  
全山に立社分三百廿七別當金光院  
八栗大佛 弘法大師 別當真言  
弘法大師 別當基理真和尚云

善光寺  
志度乃乃湯上西海入これと造と云く  
志度備位 又攝と号す  
色外(妻)也

無量壽院 真言  
高登 光源寺 真言  
坂田立 見性寺 禪宗  
高松 三玉泉寺 禪宗  
高松 本誓寺又阿弁 白木作寺依二百石  
高松 心光寺 淨土  
高松 号依金山本誓寺又阿弁寺依二百石

大相寺 禪宗  
吳藤寺 禪宗  
宗教寺 淨土  
法隆寺 淨土

國清寺 淨土  
善行寺 一向  
大本寺 浄土

正法寺 一向  
妙法寺 浄土  
高松 高松

▲田代島海八十八ヶ所一向高松  
乃之北三ヶ所一向高松

福さのお村と云ふ坂を流す小川列  
乃流る大堀と居く是より西を流る  
中七二里河段の分し一里河地産堂  
并三河列流下を流来切と流改む  
河下三流産と云ふ産産堂大坂又十丁

六十六番

雲名寺

▲本寺 十一面 坐像長三尺三寸 大座高七  
右にちん河波伴と撰波之國乃云ふ山  
河段乃流まら生さ長一里後大撰列れ  
云乃教小入里り是より小松尾と二里半

六十七番

小松尾山

▲本寺 茶師 坐像長三尺三寸 大座高七  
是分 翠引と二里 坐像長三尺三寸 大座高七

六十八番

翠引八幡宮

▲本寺 何孫院 秘傳 坐像長三尺三寸 大座高七  
是分 撰高三尺三寸 坐像長三尺三寸 大座高七  
と一里河段の分し一里河地産堂大  
乃流る大堀と居く是より西を流る

六十九番

観音寺

▲本寺 函観音 坐像長三尺三寸 大座高七  
是分 山と一里 坐像長三尺三寸 大座高七  
乃流る大堀と居く是より西を流る

▲本寺 馬頭 坐像長三尺三寸 大座高七  
是分 山と一里 坐像長三尺三寸 大座高七  
乃流る大堀と居く是より西を流る

七十番

観音寺

▲本寺 子来 坐像長三尺三寸 大座高七  
是分 山と一里 坐像長三尺三寸 大座高七  
乃流る大堀と居く是より西を流る

七十一番

百位蓮寺

▲本寺 大目 坐像長三尺三寸 大座高七  
是分 山と一里 坐像長三尺三寸 大座高七  
乃流る大堀と居く是より西を流る

▲本寺 秋也 秘傳 大座高七  
是分 山と一里 坐像長三尺三寸 大座高七  
乃流る大堀と居く是より西を流る

七十二番

出釈迦寺

▲本寺 秋也 秘傳 大座高七  
是分 山と一里 坐像長三尺三寸 大座高七  
乃流る大堀と居く是より西を流る

七十三番

早山古

▲本寺 茶師 坐像長三尺三寸 大座高七  
是分 山と一里 坐像長三尺三寸 大座高七  
乃流る大堀と居く是より西を流る

七十四番

長通寺

▲本寺 茶師 坐像長三尺三寸 大座高七  
是分 山と一里 坐像長三尺三寸 大座高七  
乃流る大堀と居く是より西を流る

廣海天皇の御宇に建皇極海乃其地誕生  
院と号す中なる秋山某所の三子大伴能  
足より金食と上世下金食(コシノウ)の何れ  
の山の初めと云はれし一里半松原あり

七十六番

八倉屋

△本寺 兼所 皇徳長三尺八寸 智徳化  
皇徳長三尺八寸 平比雲赤白

七十七番

道徳寺

△本寺 兼所 皇徳長三尺八寸 平比雲赤白  
皇徳長三尺八寸 大所比能

七十八番

道徳寺

△本寺 兼所 皇徳長三尺八寸 平比雲赤白  
皇徳長三尺八寸 大所比能

七十九番

十一面

皇徳長三尺八寸 平比雲赤白  
皇徳長三尺八寸 大所比能

八十番

四分寺

皇徳長三尺八寸 平比雲赤白  
皇徳長三尺八寸 大所比能

八十一番

白雲寺

皇徳長三尺八寸 平比雲赤白  
皇徳長三尺八寸 大所比能

八十二番

板番寺

皇徳長三尺八寸 平比雲赤白  
皇徳長三尺八寸 大所比能

八十三番

正親寺

皇徳長三尺八寸 平比雲赤白  
皇徳長三尺八寸 大所比能

八十四番

屋徳寺

皇徳長三尺八寸 平比雲赤白  
皇徳長三尺八寸 大所比能

八十五番

子平

皇徳長三尺八寸 平比雲赤白  
皇徳長三尺八寸 大所比能

八十六番

八雲寺

皇徳長三尺八寸 平比雲赤白  
皇徳長三尺八寸 大所比能

八十七番

藤原寺

皇徳長三尺八寸 平比雲赤白  
皇徳長三尺八寸 大所比能

八十八番

藤原寺

皇徳長三尺八寸 平比雲赤白  
皇徳長三尺八寸 大所比能

八十九番

藤原寺

皇徳長三尺八寸 平比雲赤白  
皇徳長三尺八寸 大所比能

皇徳長三尺八寸 平比雲赤白  
皇徳長三尺八寸 大所比能

皇徳長三尺八寸 平比雲赤白  
皇徳長三尺八寸 大所比能

徳いふに今と云ふは古き徳を以て社名と云はれ

墓其内より考へしきりて屋敷平塚に小

足しより此より若帝女院幸修乃内裏の

松より此より檀と名付浦と檀乃海と名

又の引乃檀とくはありしゆら南西の

乃藤とめりぬる中もあて見り合

たがひ小引ありて入海二町じり深りく

たを此を市が物立石といのり石とあり

その他を南に熱門次候り村おとされり

其後此を史書と云名も乃墓あり或る

うと此を若木井小丸生山とて源氏

乃か件ありて外田記かすくあり

熱居ひれ村と云熱門じりやう今今城あり

八十八番 八栗木

▲本名 千平 三條 又尺 大降 山他

是より志度まで一里半 ▲志度村町の西小

は取の元一日為米かたのて安中て併てり

八十六番 志度

▲本名 十一面 三條 又尺 大降 山他

是より長尾まで一里 ▲長尾村 大降 山他

八十七番 長尾

▲本名 長尾 三條 又尺 大降 山他

是より大窪まで一里 ▲大窪村 大降 山他

▲小大降 山他 乃本あり 大降 山他

八十八番 大久保

▲本名 大久保 三條 又尺 大降 山他

是より何列まで一里 ▲何列村 大降 山他

▲大久保 是より大久保村 ▲大久保村

何列より大久保まで一里 ▲大久保村

▲大久保 是より大久保村 ▲大久保村

山

▲大久保 是より大久保村 ▲大久保村



同中 一 ぬき下  
同下

南形 ぬき下  
ぬき下



しろ大巻け

おん  
ぬき下

松平大隅守者之

橋田 ぬき下  
ぬき下



しろ大巻け

おん  
ぬき下

森山弁之助

おん  
ぬき下



徳方 ぬき下

ぬき下  
ぬき下

黒田任務守長清

小川 ぬき下  
寺田 ぬき下  
丹波 ぬき下



ぬき下  
ぬき下

おん  
ぬき下



白り六角

おん  
ぬき下

同 秋月 ぬき下

ぬき下 二百八十八日

黒田甲斐守長重

高橋 ぬき下  
高橋 ぬき下

ぬき下 ぬき下

おん  
ぬき下

ぬき下 ぬき下

おん  
ぬき下

ぬき下

おん  
ぬき下

黒田千之助

おん  
ぬき下

ぬき下

おん  
ぬき下

黒田右松平氏御家系

おん  
ぬき下

源孝高

長政

忠之

長興

女子三人

女子

高政

小笠原能登守室

網之

之勝

長重

網政

某千之助

某左京

長清

某 森山弁之介

女子 黒田甲斐守室

▲出田城先主之御次第  
▲高田傳古之城地者各嶋也隆景中綱言秀秋之後



夕陽社 夕陽社 一庭 養田天中

是即八幡大神ありていかに居りて  
皇太后御殿より遷りて二十二年朝日奉  
みはるく巻巻をふりて西と東とをい

香推宮

糟屋船 一祭社 二庭  
東 非切皇后 西 武内宿禰

昔神切皇后武内宿禰とありて  
船神と付給りてとありて船神あり  
それらより本廣宮とありて二社とあり

本宰府天神

本宰府 一祭社 菅原

山城山守乃天神乃本也 菅原相  
俊村時年々供ふりて本宰府神あり  
あふ一歳とて本宰府に遷りてあふ年  
と七遷し一とて遷りて天満宮と号す

社領三石

社領三石 別當安樂寺

本宰府といふ高石の月か西小末ありて  
四ノ一ノ長乃御守奉りてあふりて  
かた為人勢といふありてけり府とありて  
かり東國陸奥小松本府ありて

徳満天神

徳満天神 一祭社 菅原

昔あつた近小社とありてけり  
一の居ありて近小社とありてけり  
と満乃とありてとありてとありて  
とありてとありてとありてとありて

本伎社

本伎社 一祭社 菅原

本伎社といふ近小社とありてけり  
一の居ありて近小社とありてけり  
と満乃とありてとありてとありて  
とありてとありてとありてとありて

電門神社

電門神社 一祭社 菅原

電門神社といふ近小社とありてけり  
一の居ありて近小社とありてけり  
と満乃とありてとありてとありて  
とありてとありてとありてとありて

當國佛

當國佛 一祭社 菅原

當國佛といふ近小社とありてけり  
一の居ありて近小社とありてけり  
と満乃とありてとありてとありて  
とありてとありてとありてとありて

久松及院 標

精進殿 建冬三年 築西建之

聖福寺 標

博多屋 同六年 建五圍基 築

安樂寺

宰府 延喜十九年 乃仲平

最勝院 標

志麻立 大平云古 標 標 標

稱法院 標

名勝 建中 綱云 秀林 建

何鉢伝 標

福屋 建 岡基 標 中 乃 乃

西光寺 標

町 尾 立

▲流前田般名所記

名乃山

標 下 標 標 標 標 標

かき山

標 ひささ 標

ひささ山

六 標 標 標 標 標 標

招り山

標 標 標 標 標 標

大野山

標 標 標 標 標 標

とれ山

標 標 標 標 標 標

とろくと出る傳あり文殊をやりとろ  
しり船受の候と云ふ二三里し

持造 志保の物も長る候所の候味と云ふ所あり

あつち山 大和赤松山あり日守あり

と乃乃候 赤松 赤松あり

神代候 赤松 赤松あり

うわ候 赤松 赤松あり

赤い山まゝ赤松社に祀られとせり  
たふしに祀り候と云ふ所あり

あつち山 赤松あり

後進深川と注んどののそらるるをいふるの事  
 ういぬに 百五 伸の所をいふる事  
 茶番江 多 くの事  
 松宮 以外ういぬ 一の事  
 西久毛 松宮の事  
 玉嶋川 ありの事

北前國分名物出所

練洞 ありの事  
 華 ありの事  
 箱 ありの事  
 玉嶋川 ありの事

右北前國分

大日本西海道 九十四

筑後國 筑列 上段十段あり

田坂を方ふ二百七十七丁  
 三井 生糸 三井  
 三井 三井  
 三井 三井

知行高三万二千八百石

貴國大田米沖城

有馬中務太輔頼元

内倉屋列大納言殿  
 同下 三田  
 山崎了ち

二万九千石

おま ちり茶  
 おま ちり茶  
 おま ちり茶

北前を三万石に改め以て豊氏天の心と爲る事  
 横波を三万石に改め以て豊氏天の心と爲る事  
 三井長兵衛三井長兵衛福智山爲主八万石  
 元和七年爲北前國分名物出所  
 自是北前國分名物出所

右有馬氏水滸系

源豐氏

臣備以

忠卿

中務大輔

賴利

安備以

豐登

伊守

某

宋女正

賴元

中務大輔

女子三人

稻聖百原亮室  
山内古近方天室

某

万吉

賴元

實女番以  
賴利弟

當城先主

久米米若田部秀包

小早川隆景分

田中兵部大浦吉政

長長直方此五石

有馬兵部大浦忠政

元和七年分此五石

中務左補賴元

同

中務左補賴元

同

賞

日

中務左補賴元

同

同

柳川沖城

戸分海陸二百九十石

之花

宗昌

散

小野和泉

之花

宗昌

大

矢傳用防

之花

宗昌

大

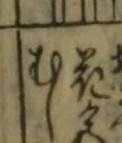
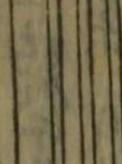
角田市乃

之花

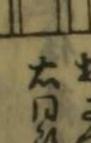
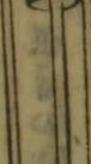
宗昌

大

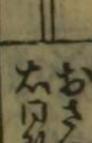
角田市乃



之花



之花



之花

大友

鎮種

宗茂

忠茂

秋虎

種長

種明

馬

直次

種次

種長

種明

種明

種明

種明

之花

之花

之花

之花

・日 瓦原寺忠茂 同寺  
・日 瓦原寺秋虎 同寺  
本鑑虎又稱廣茂  
今改為秋虎

三池(山形) 内三池分長門赤井園と海上  
廣徳三千里 園浦分長門赤井園と海上  
一里 赤井園分大坂と海上百廿五里 大坂分  
江戸と海上百廿四里 又三池分流防と海上  
赤井園と海上百廿九里

三池(山形) 八幡又三  
丹原角三  
後田七左  
松井三左

三池(山形) 江戸と海上百廿四里  
赤井園と海上百廿九里

三池(山形) 江戸と海上百廿四里  
赤井園と海上百廿九里

當國水代官 世日向肥後荒布院  
今井九右衛門

高良の神 三井五左 社在千石 別當 月光院  
祭神 武内宿禰 或号玉皇社

人皇四十七代天武皇帝白鳳二年二月八日  
乃中宮以晨昏武皇乃建將之り 未也  
乃中宮古款新羅丸禍害切之り 九年新羅  
乃中宮小部之り 建新羅降伏乃中宮  
書之 音度下小部乃別在 小降伏之り  
此社 乃新羅 延長元年 輕賦之り  
建神年又 神名 長元 沖位 欠報十  
一年 軒 三月廿二日 二位 國史

平松権規 赤松権規  
赤松権規 赤松権規  
赤松権規 赤松権規

善存寺 善存寺  
善存寺 善存寺  
善存寺 善存寺

長福寺 長福寺  
長福寺 長福寺  
長福寺 長福寺

西福寺 西福寺  
西福寺 西福寺  
西福寺 西福寺

長源寺 長源寺  
長源寺 長源寺  
長源寺 長源寺

豊前之國 宇佐宮



筑後之國 高良大明神



卷之十四 四十八

卷之十四 四十七

妙蓮寺 法云 佐多 妙光院 法云 一色村

▲筑後國名所ノ数

高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山

一色川 一色川 一色川 一色川 一色川 一色川 一色川 一色川 一色川 一色川

高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山

高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山

高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山

▲筑前國法言ノ法

高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山

高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山

高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山

▲筑前國名物出所

三浦 三浦 三浦 三浦 三浦 三浦 三浦 三浦 三浦 三浦

▲石筑後國分

大日本西海道 九箇國ノ内

豊前國 卷列

京都府 田河 全板 仲津 宇作 荒波 上毛 中毛 下毛

富田小倉沖城 三浦 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山

小倉原 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山

高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山 高良山



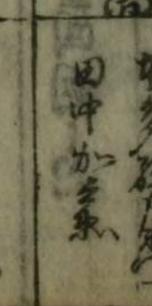
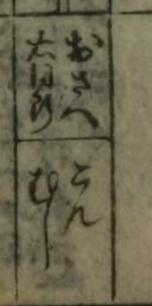
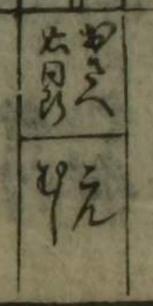
小笠原織部清貞  
源氏家系

小笠原為千代  
源氏家系

小笠原大力  
源氏家系

小笠原備中守長高  
源氏家系

源氏家系  
源氏家系



源氏家系  
源氏家系

源氏家系  
源氏家系

源長基

源長基  
源氏家系

源長基

政康

信貴

貞信

長隆

貞次

長時

忠脩

忠政

忠知

長定

重直

貞政

長之

女子二人

重長

忠次

女子二人

重長

忠次

女子二人

持長

定基

信之

清長

貞慶

長知

忠貞

長政

女子

忠雄

長高

女子

某

某

某

某

某

某

某

長朝

貞忠

政信

長秀

貞慶

長知

忠貞

長政

女子

忠雄

長高

女子

某

某

某

某

某

某

某

長朝

貞忠

政信

長秀

貞慶

長知

忠貞

長政

女子

忠雄

長高

女子

某

某

某

某

某

某

某

▲當城先主之由次也

森 豐前守

黒田官兵衛孝高

細川越中守忠貞

同 越中守忠利

小笠原右近右史忠貞

同 越中守忠雄

同 中津之沖城主

小笠原隆經右史長胤

同 初八万石



江戶水原家 小石川  
同下 本江退合

和田園方今  
中島武吉



内塔

此先中興小笠原兵衛隆經 秀政天正十年  
為下院園古河城主 三万石

同為信州飯田城主 五万石  
同為同國松井城主 八万石

同侯隆經長次 秀政隆經為其子前國中津  
城主 八万石 貞長初後代 為當城城主

同侯隆經長次 秀政隆經為其子前國中津  
城主 八万石 貞長初後代 為當城城主

▲當城先主之由次也

黒田官兵衛孝高

細川氏修

小笠原隆經長次

同 内近政長胤

同 隆經長胤

▲豐前國中神社之部

宇佐宮

宇佐宮 宇佐郡 宇佐 宇佐 宇佐 宇佐

古卷乃傳云 宇佐神社 宇佐郡 宇佐 宇佐

皇居之北 宇佐神社 宇佐郡 宇佐 宇佐

皇居之南 宇佐神社 宇佐郡 宇佐 宇佐

皇居之西 宇佐神社 宇佐郡 宇佐 宇佐

皇居之東 宇佐神社 宇佐郡 宇佐 宇佐

いふに概く神を祀りて各村に慶福  
八幡大社宮と云ふ 一云天田皇親御  
奉迎遷宮と云ふりて教生と云ふ物と云ふ

社領千石 社主 文城主馬

▲八里四十八代孝謙天皇御崩道院と云  
一王位と儀を乞ふに於て御遺徳を  
乞ひて御使りて和氣清麻呂を御  
奉りて清麻呂を御作し給ふと云ふ  
東宮御行りなれば大社と云ふと云ふ  
此社御行りて和氣清麻呂を御  
乃天日嗣の神代より代りて乃皇親乃外  
臣よりて御奉りて御奉りて乃皇親乃外  
乃皇親乃外御奉りて御奉りて乃皇親乃外  
と云ふと云ふ御奉りて御奉りて乃皇親乃外  
由瓜貴より乃皇親乃外御奉りて御奉りて乃皇親乃外  
て大陽國へ御奉りて御奉りて乃皇親乃外  
御奉りて御奉りて乃皇親乃外御奉りて御奉りて乃皇親乃外  
を外古今は御奉りて御奉りて乃皇親乃外御奉りて御奉りて乃皇親乃外  
云ふつと云ふ御奉りて御奉りて乃皇親乃外御奉りて御奉りて乃皇親乃外  
▲新古今集 蘇我天皇 孝德天皇御奉り  
乃皇親乃外御奉りて御奉りて乃皇親乃外御奉りて御奉りて乃皇親乃外

りて御奉りて御奉りて乃皇親乃外御奉りて御奉りて乃皇親乃外

▲祭社  
香春卿 社領五斗  
▲祭社  
奉國皇長大臣 社領百斗



海嶽 統員

右豊前國分

大日本西海道

九ヶ國

豊後國 卷列

又穀多し 産物多し 中上回也 素麻多 夜夜充

日田

珠珠

速見

大野

海船

大方

速見

玉崎

知行高三拾七万八千九百九十二石

當國向梓沖城

江戸分海陸 三百六十八里

四ヶ坂分向梓上 亦乃百廿三里才但令ハ 百四十四里 大坂分江戸迄 亦乃百四里 又右系古史景通由母系及之 中勢左橋師

福葉後宅守知通

水知立石

福葉後宅守 栗原又六郎 大崎守左衛門

水内云 海口佐法古坂 江戸内庭安 久保町 下 かのり町

片屋の守左衛門 尾津清康



福葉彦六郎

水内守



水内守 大目守

右水内系 福葉後宅守 田中城 一系 此先代より 福葉城 主

當城 荒草 水内守

當國者 往古 大友氏 領之 依之 當國 依城 依一門 家 都 守 居

大友氏 居城

大友豊後守 義統

大田 亮 義忠

福葉 守 義通

右系 亮 義通

氏 亮 義通

法 亮 義通

大友 亮 義通

法 亮 義通

法亮一洪 義忠又六年 又乃石 福葉守 守通 守子 日守 初号 彦六

日守

日守

日守 初号 市心

日 竹田御城主 又号 邑城 江戸分海陸三百一里 大坂分三佐と身給百一



中川因幡守久通 一里三佐分竹田と陸給十三里 又三佐分大相川と身給七里半

中川玄番 日記 外記

内内系 江戸内系 酒井河内守妹 江戸内系 新橋南三丁目 日中 芝新

比平

内係

右中川氏御家系

源清秀 瀬兵衛

久恒 伊渡守

秀重 修理大夫

久盛 内膳正

久清 堀守

久通 因幡守

女子 松平大藏太補室 仙石越前守室

当城荒主 江戸分

中川 中川 中川

中川 中川 中川

中川 中川 中川

日 日 日

日 日 日

日 日 日

日 因幡守久通

日 佐伯御城主

毛利 毛利 毛利

毛利 毛利 毛利

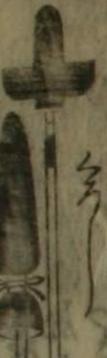
内内系

江戸内系

内内系

日中 月下

日中 月下



毛利 周防守 高定



大江 右毛利氏御家系

長高 伊勢守

高直 伊勢守

高文 高定

高文 高定

毛利 毛利 毛利

毛利松澤守吉成 同高  
 伴勢守吉成 同高  
 日 吉原正吉重 同高 後号安房守  
 日 吉原正吉重 同高 吉原重俊  
 日 吉原正吉重 同高 吉原重俊

府内之沖原吉 江戸分海陸  
 大坂分府内吉 亦依百廿二里  
 二百廿二里半余

松平對馬守昭重 長中吉重  
 吉田忠重  
 江戸分海陸  
 大坂分府内吉 亦依百廿二里  
 二百廿二里半余

江戸分海陸  
 大坂分府内吉 亦依百廿二里  
 二百廿二里半余

松平將監昭貞 長中吉重  
 吉田忠重  
 江戸分海陸  
 大坂分府内吉 亦依百廿二里  
 二百廿二里半余

先松平昭重 寛永九年三月  
 尾形吉三 寛永七年  
 城守 二万二千石  
 居吉 二万二千石  
 府内 昭重 昭重 昭重

右松平氏御家 親清 生新三郎  
 源近正 源三郎  
 成重 將監 昭重 將監 昭重 將監

忠重 昭貞 昭重 昭重  
 某 主計 某 寺四郎  
 某 左衛門 女子  
 女子元 中根大隅守妻 世部阿波妻

當城先主之次子  
 福原右馬頭  
 早川吉馬  
 竹中保良守  
 竹中兼吉守  
 日根輝成 昭重  
 松平昭重 昭重  
 對馬守忠重

日出浦原吉 江戸分海陸  
 日出大坂吉 亦依百廿二里  
 二百廿二里半余

木下右衛門吉重 長中吉重  
 吉田忠重  
 江戸分海陸  
 大坂分府内吉 亦依百廿二里  
 二百廿二里半余

日出浦原吉 江戸分海陸  
 日出大坂吉 亦依百廿二里  
 二百廿二里半余

木下右衛門吉重 長中吉重  
 吉田忠重  
 江戸分海陸  
 大坂分府内吉 亦依百廿二里  
 二百廿二里半余

日出浦原吉 江戸分海陸  
 日出大坂吉 亦依百廿二里  
 二百廿二里半余

内室 松田流り  
日中 美上地兼  
月个 白紙の系

木下式部女将後身  
松原新三  
云云

天正九年 妻太田秀吉云築藩列傳  
松原新三  
云云

▲天正九年 妻太田秀吉云築藩列傳  
▲松原新三 妻太田秀吉云築藩列傳  
▲松原新三 妻太田秀吉云築藩列傳

▲松原新三 妻太田秀吉云築藩列傳  
▲松原新三 妻太田秀吉云築藩列傳

▲松原新三 妻太田秀吉云築藩列傳  
▲松原新三 妻太田秀吉云築藩列傳

日 城築沖城主  
松平志摩直之  
如友了丸  
大原平兵衛

内室 合子不三屋  
日中 多之 日个 中在

松平市之郎  
八田苗七  
系出

▲松平市之郎 妻太田秀吉云築藩列傳  
▲松平市之郎 妻太田秀吉云築藩列傳

細川氏領之  
 小笠原左衛門守忠知  
 松平市西 杰次  
 月志广守重貞  
 寛永九年  
 正保三年  
 天明三年

日森之沖領之  
 江戸海原二百七十里  
 大坂小坂成五二町  
 田廿六里 成成森之濱九里

久留信濃守通清  
 江戸一力二子五町石  
 小田山内中野内吉原  
 江戸山内安芝礼ノ辻  
 月下 二町板木  
 江戸人  
 二井監也  
 佐々木 浜次房

久留信濃守通清  
 江戸一力二子五町石  
 小田山内中野内吉原  
 江戸山内安芝礼ノ辻  
 月下 二町板木  
 江戸人  
 二井監也  
 佐々木 浜次房

越智  
 右久留信濃守家系  
 通清 信濃  
 通經 帶刀

南國津代官  
 今井九右衛門  
 豊後國津社  
 又号西之勢社  
 武内右社也  
 元禄十一年三月廿三日  
 天保元年  
 天保二年

八幡宮  
 同様の社  
 立社  
 高國佛欄  
 大野之角基  
 依立  
 津大  
 川尻村  
 天保中

親善寺  
 全別院  
 津法寺  
 如來寺  
 高國名所  
 山内  
 山内  
 山内

高國佛欄  
 大野之角基  
 依立  
 津大  
 川尻村  
 天保中

親善寺  
 全別院  
 津法寺  
 如來寺  
 高國名所  
 山内  
 山内  
 山内

八幡宮  
 同様の社  
 立社  
 高國佛欄  
 大野之角基  
 依立  
 津大  
 川尻村  
 天保中

親善寺  
 全別院  
 津法寺  
 如來寺  
 高國名所  
 山内  
 山内  
 山内

八幡宮  
 同様の社  
 立社  
 高國佛欄  
 大野之角基  
 依立  
 津大  
 川尻村  
 天保中

親善寺  
 全別院  
 津法寺  
 如來寺  
 高國名所  
 山内  
 山内  
 山内

八幡宮  
 同様の社  
 立社  
 高國佛欄  
 大野之角基  
 依立  
 津大  
 川尻村  
 天保中

親善寺  
 全別院  
 津法寺  
 如來寺  
 高國名所  
 山内  
 山内  
 山内

八幡宮  
 同様の社  
 立社  
 高國佛欄  
 大野之角基  
 依立  
 津大  
 川尻村  
 天保中



豊後之國 萩原大明神

此山府中しりあし又此山小温泉あり  
故小湯おたけもたけあり

三保浦

三保浦乃遠かたて 三保乃遠かたてより此處と云ふ山

と云ふ山ありて此山に三保浦ありて乃西の山

より此山に下集りて此山に三保浦ありて乃西の山

大日本西海道 九ヶ國之白

肥前國 肥列

素加農屋くま多依谷中上國也  
田敷壹万三五百六十三丁

基漳 三振 小珠府  
作契 松浦 杵嶋  
茂津 島本 高来

知行高六拾七万四千五百七石

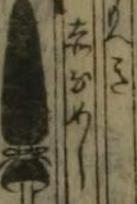
二九の火前之書よりを放りぬり幸乃十八  
年五月三章より火乃西の山より日後より  
英くよりりくかぬと云ぬ九章よりす  
内をた火乃光るくすれぬ此の山より  
内より火乃光るくすれぬ此の山より  
國と火前と云ふは小政と肥前と云ふ

當國作亥沖城主

豊前 内浦と二下九里一丁分出取  
是ら大板と二下九里一丁分出取

松平信濃守経辰

内之云 松平氏之系也  
内母依 上松原云大御所  
此戸の屋敷は門内  
同下 あまふ市一乘町



おえん 北とん  
なごん 不五

松平 右鶴嶋氏御家系

藤原真茂

加賀守 勝茂 信濃守

忠直 肥前守

光茂 松平後  
侍従

忠茂 加賀守

正茂 松平大

元茂 紀伊守

直能 加賀守

正恭 帶刀

直直 帶刀

直澄 甲斐守

忠頼 紀伊守

直方 内面 実父

直條 備前守

直之 膳部守

直称 熊之助

直朝 加賀守

女子天 古上松原正室

女子 鍋嶋備前守室

細茂 信濃守

女子天 古上松原正室

女子 鍋嶋備前守室

唐津沖城主  
江戸分海陸三百七十里  
余内夜分唐津と  
再取而七十八里計

大井月防寺利益  
小松屋三勝  
岩崎定右衛門  
新藤正右衛門  
斤山寺大妻

山内室右田中中坊  
江戸山内屋次  
日中加さ町日下大井

出場  
大井宮内  
平九方

大井大炊利勝始為下総國依合  
城主 十四万石  
▲元永十年為日守何  
城主 十六万石 日守  
但三方又日守何  
但三方又日守何  
▲延享八年日守防与  
利勝為志列在城主  
年日肥原唐津 亦久為高小松主

源利勝 大炊師  
利隆 遠江守  
利重 大炊師  
某 堀丹波守室  
女子元 金保在京室

利長 陸奥守  
利忠 武藏守  
利益 周防守  
女子元 酒井朝貞室  
某 宮内

利房 能登守  
利治 内記守  
女子元 某 宮内

利直 信濃守  
某 内匠  
織田源七郎室  
土井式部兼室

某 左衛門  
女子元 酒井右京亮室  
久世出雲守室

▲當城荒至山次  
當城之朝鮮陳之時大商秀吉為在陳築之

寺次志摩守廣島  
同日 天草一檢所後  
八万三千石

日 長原頼堅高  
但天草四万石上  
又天草四年戸田信俊大忠流  
三州田原分天草 移之  
於安永二年八万二千石

大久保加次忠季  
出羽守忠信  
同日 松平和泉守宗春  
同日 源次郎  
元禄四志列多取一  
同日 七万石

大井月防寺利益  
同日 大井月防寺利益

大村沖城主  
江戸分大坂、百廿四里  
大坂分海陸百廿三里

大村因幡守統長  
由知二万七千石  
大村因述  
同日 右衛門  
右田正左衛門

由内空 江戸山内屋次  
江戸山内屋次前町 町所記  
おとこ 地元  
小夜 由



大村純後守純子

小内室 城田 城前守女

大村伴藏純庸

木二男

大村氏御家系

藤原純忠

喜前

純頼

純信

純長

純真

純平

政種

純庸

治貞

當城先主代々大村氏

大村丹後守純頼

丹後守純信

因幡守純長

同 鴻原沖城

百世七里或八百二十里... 小倉三三三三 小倉分鴻原三十七里

松平主殿頼忠房

小知七万石



松平阿波守忠継



此松平主殿外... 田城主三万石... 同永新屋... 國福努山城主... 長必治守...

右松平氏唯忠系

源好景

伊忠

家忠

忠利

忠房

忠倫

忠矩

當城先主...

在近所至平松倉代移地

把部...

松倉登俊  
 長門守  
 有力松澤吉忠房  
 左近右大臣隆長  
 松平左殿取忠房  
 元和元年八月四日在  
 三万石外三万石  
 (曾左大臣配介)  
 (寛文元年八月六日卒石)

平戸御城主  
 江戸方海陸三万九千里  
 大坂方平戸三万四千四百里

松浦重之助守任  
 元和六年三月石  
 松浦仙六郎  
 日末  
 山崎平五

松浦教馬  
 江戸方海陸三万九千里  
 大坂方平戸三万四千四百里

松浦織部昌  
 江戸方海陸三万九千里  
 大坂方平戸三万四千四百里

松平重信  
 江戸方海陸三万九千里  
 大坂方平戸三万四千四百里

源信門 肥前守  
 刑部卿法印  
 久信 肥前守  
 隆信 吉岐守  
 女子 秋月長門守室  
 長 肥前守

鎮信 肥前守  
 昌 織部  
 女子 石川暴作室  
 南部毛稅室  
 坂倉周防室

松浦氏  
 右松浦氏御系  
 隆信 吉岐守  
 女子 秋月長門守室  
 長 肥前守

小城沖城主  
 江戸方海陸三万九千里  
 大坂方平戸三万四千四百里

小城三  
 小城主  
 小城下

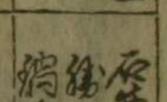





右家系高田依安松平丹後守一系之  
 蓮池沖城主 江戸方三百十二里  
 大田



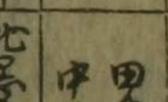
鴉鴉攝津守連之  
 江戸方五百二十石



原并又右馬  
 鶴尾佐門  
 鶴鴉三針  
 田中三右馬  
 甲生権左馬



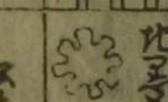
江戸家市内家方  
 江戸沖屋敷 吉山  
 日中 日下  
 二百九十九石



比呂茶 比呂茶



鴉鴉德之助連孫  
 江戸方二百石



松枝是左馬



人  
 江戸方二百石

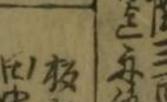


馬

右家系高田依安松平一系  
 久保沖城主 江戸方海陸三百四十八里守  
 大坂久保守一年修二百十四里



鴉鴉備前守連孫  
 江戸方二百石



板津番女  
 日中 日下  
 桐原孫左馬



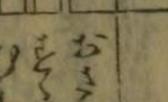
江戸家鴉鴉備前守孫  
 江戸沖屋敷 吉山  
 日中 日下



長理女左馬

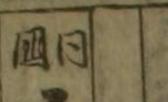


江戸家  
 江戸沖屋敷 吉山  
 日中 日下

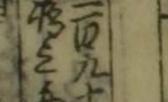


おさへ 地之ん  
 ひり作

右家系 大田  
 大田方三百九十五海陸陸  
 大坂久保守二年修二百十三里



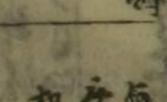
大鴻沖城主  
 江戸方三百石



藤原利房  
 相尾吉左馬



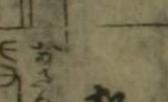
江戸家  
 江戸沖屋敷 吉山  
 日中 日下  
 二百九十九石



松屋久左馬



江戸家  
 江戸沖屋敷 吉山  
 日中 日下  
 二百九十九石



青丸 白丸

右五右衛門氏家系  
 盛久 駿守  
 盛備 飛騨守  
 其 万言

平盛勝 大田守  
 昌章 磯子孫守  
 女子 伊織

其 伊織  
 女子  
 昌章 磯子孫守  
 平盛勝 大田守





南河山 是といれあふ山と云くといり

い山り六里しうり坤乃方に呼るとい

不ありは浦里乃向い小浦社を巳ぬ石

とくはうさよ服う後唐乃取と云ひ記

志くをくかりて浦唐くは浦より呼る

松浦乃海 乙女沖 山系おたふあり川 松浦のうら

松浦川 松浦のうら 乙女沖 山系おたふあり川

松浦川 乙女沖 山系おたふあり川



當國熊本沖城主

五重海陸兵二百五十九里  
百州八里海陸兵二百七十二里

細川越中守經利

由知五十四万石

由内松平後收寄始  
由内松平後收寄始  
由内松平後收寄始  
由内松平後收寄始



細川興市郎



細川千次郎



細川采女正昌利

由内松平後收寄始  
由内松平後收寄始  
由内松平後收寄始  
由内松平後收寄始



細川重親



細川越中守經利  
由知五十四万石  
由内松平後收寄始  
由内松平後收寄始  
由内松平後收寄始  
由内松平後收寄始

源藤忠貞

由知五十四万石  
由内松平後收寄始  
由内松平後收寄始  
由内松平後收寄始

由知五十四万石  
由内松平後收寄始  
由内松平後收寄始  
由内松平後收寄始

由知五十四万石  
由内松平後收寄始  
由内松平後收寄始  
由内松平後收寄始

長谷部刀  
有吉守左衛門  
長谷部物

小田原氏  
板橋氏  
中根氏  
堀内氏

石吉  
石吉  
石吉

友田氏  
友田氏  
友田氏

馬

光高  
肥後守  
侍從

行孝  
丹後守  
有孝  
和泉守

細利  
越中守  
女子三

真英  
香番  
女子

利重若狭守 昌利米女 某与市郎  
 女子細川若狭 某主統 某其次郎

▲當田城先主之次女  
 當田者正幸以前城子即太郎居之其後之御次弟

加茂胆後守清正  
本一万九千石 世号主計政 安永十年指出高其五十年小西孫傳与行長 加茂

同 胆後守忠廣  
同号 安永九年 卒四万石

同 細川越中守忠利  
卒五万石 外三万石 分中勢大福久 四万石 外三万石 丹后使守修

富城主 同 越中守信利

同 宇土沖成主  
江戶分三万六千七百里

細川和泉守有孝  
江戶分三万石 依方深右馬 丹后守忠廣

同 八代之城  
江戶分三万石 依方深右馬 丹后守忠廣

細川越中宰相三舟孫孫辰城  
 家長長長依渡守之

同 求麻沖城主  
江戶分胆後國求麻令 依方深右馬 丹后守忠廣

相良老江守頼隆  
江戶分三万石 依方深右馬 丹后守忠廣

同 志摩守頼福  
江戶分三万石 依方深右馬 丹后守忠廣

▲右相良氏家系  
 藤原長安左近亮 頼寛左衛門 長武遠江守 某宮内早世  
 頼隆越中守 某式部早世 某左兵衛 某志戸守 某左兵衛

同 志摩守頼福  
江戶分三万石 依方深右馬 丹后守忠廣

▲先主し水次也

相良右衛門長房 二万三千家 系家左京亮長房

日 長政守長武 日守

日 重以守長武 日守

日 重以守長武 日守

▲肥後國分神社

何籬宮

何籬宮 何籬宮三座

木宮 武藏執命二殿 阿籬船

三殿 阿籬船

右中侍神家口史お兼也 あま一宮也

▲新治天皇西宮十八年六月十六日何籬

國小宮りすす此國乃郎系藤原

て人居りてす天皇乃此國小宮りや

時二神より何籬船阿籬船

ち申り人小宮りてす藤原と云云二人

あり何ぞ人形やと故小宮りてす

て何籬と云 日守紀和祥 ▲神位

仁宗九年冬十月丙午 建武執命加

階位と云 文德實錄 貞觀十七年十二

月改二位 日守 仁宗二年二月戊子

肥後之國

阿籬山





八代室持 高木久一 能乃系  
 日向切輪 毎のこにせ 奥府板天  
 板本しと云 相良焼若  
 海中之 龍石 天叢龍と云 野大板  
 久保田と云 志波白蒸石 大川火打石

△石胆後四分堂

大日本西海道 九箇國の内

日向國 日列

中岳又和四方三有  
 糸麻六穀平均之  
 肥湯 阿排 那河 文海 徳縁  
 知行高二指八方八千六百八十九石  
 日向國亦小管て重日乃出方小向取小  
 日向と云と云と云

當國飯肥油城主及小肥と云

江戸分海濱三有 一里門小肥油城  
 分左取と云と云 徳志文冬  
 進之と云 又小和方並近及子月  
 日向 日向

俵友出雲守祐實 月勝大胎 松尾公之乃

日向 日向 日向

俵友後河守祐宗 日向 日向

藤原祐慶 祐久 祐由 祐實 祐宗

當城先主之傳次第  
 俵友修理大文祐慶 五万七千石  
 大和守祐久 同方 内三又石同姓  
 左京亮祐由 立物守石  
 出雲守祐實 同方

月城邊沖城主 江戸分海陸二百八十三  
里半 内城邊一分

英之陣邊上陸城六里半 是分出每  
大坂上舟船百六十二里 但冬之海上六  
里後個作突圍用防圍上圍三後  
海軍於廿一里傍廿里半十四丁

秋月長門守種政 山田卿之孫  
治谷次左吏

秋月長門守種政 石田之次男  
中村傳左衛門

秋月長門守種政 寶小  
中村傳左衛門

秋月長門守種政 寶小  
中村傳左衛門

秋月長門守種政 寶小  
中村傳左衛門

大藏種長 長門守種春 種信 種政 長門守  
某 宮内四 某 式部三 某 十三郎二 某 兵部

先王之御次男 三万石

秋月長門守種長 同言

秋月長門守種長 同言

月縣之沖城主 又云延忠 江戸分海陸  
三百九十五里

三浦長門守種政 九龍尾長房  
升務守左男

平正次 壹藏守 女子  
安次 壹藏守 直次 壹藏守 某 吉五郎

供次 越中守 女前田宮内女輔室

▲先主之御成

高橋右近

五万石

高橋左衛門作直純

寛永十九年分五万石

月 左衛門作康純

五万石 但三石

日 左衛門作永純

日姓方配分

當城主

三浦善政守直次

元禄四年越後先主不  
有年分 二万石

剛佐土原神城

江戶小海陸

二百九十里

但各島山首里傍

福澤左京義長

横山主

味知二万七石



江門宮松平再一男  
江戸本居安三田ノ基  
日中

横山主



二平九石

おま 北三石  
とろふ 北三石  
うらふ 北三石

流荒龍守忠久 婿子左京左史義長  
流荒系後列大与流一系

▲先主之御成

當城主

橋津式部女御久壽

三万七石  
橋津龍守子  
同石

日向國神

見湯敷之村 高田一石

系神

大己貴命也 社号又之務社

鹿野神

鹿野三石 社号分石

弘法寺 高田天宮

見湯敷之村 弘法大僧 鹿野

安居寺 藤系

用山新光院 九石

大光寺 藤系

用山長南院 六石

高福院 藤系

中修村 三石 高田三石

法林庵 藤系

美高三石 高田三石

如來寺 藤系

田中村 三石 高田三石

日向國神

日向國神 日向國神 日向國神

▲日向國中名物出所

▲扇蓑 粟花 （日向） ▲文器 ▲松板  
▲松角 荻竹 ▲葵葉 ▲文信子

▲右日向國分以之

大日本西海道

九箇必之

大隅國 隅川

中管八般事の旨  
小管より上は以て大食  
物より中上四也 田穀は七百七十

大隅

荻竹

粟

松板

大隅

荻竹

粟

松板

大隅

荻竹

粟

松板

知行高十七万八百八石

和州元年日向國の内里郡と分て是を  
重り社殿の倉をりて之を

雷國者

以て藤原氏依之若之代  
之内里を藤原國分と記之

▲為國神社

麻兒湯大社

素原郡之 ▲祭神 三統

一統云云 一統云云 出見多

○解 日向大隅國云々 出見多也

○又統云云 大隅宮の社 初皇后の 大統

前 日向大隅國 西向の武内臣也

▲秋明天皇元年甲子 於座一多り社也

熊毛大社

熊毛大社 祭神

祭神 生見多也 正親町院 天正年中

日向大隅國 出見多也

一 日向大隅國 出見多也

熊毛大社

祭神 生見多也

日向大隅國 出見多也

武夫 祭神 生見多也

日向大隅國 出見多也

小笠原り毛祖天と云々の日向島  
越前神代たりのま

同四仲樹之類

報善堂 志云 松蔭 志云 十一面観音  
海岸院 祿宗 大隅松 松林寺 祿宗 日向松林村  
法慈院 法志 漆村光茂院 法慈院 日秀寺

同四名所之類

乃森

乃森のこしと名ありと曰る

もろろりい森大隅松乃らりといひ  
乃圃に曰名あり 志云 乃圃

後津山

此名も後圃にあり

夕ぐれのみ

夕ぐれのみ 志云 夕ぐれのみ

夕ぐれのみ

夕ぐれのみ 志云 夕ぐれのみ

夕ぐれのみ

夕ぐれのみ 志云 夕ぐれのみ

山ありのそとれらるるのそとれらるるけり

當國名物出所

及松竹筒

松竹筒 志云 松竹筒

石大隅國分

九箇國分

大日本西海道

後唐國

後列

唐云小あり 故小村 志云 故小村

出所

出所 志云 出所

河名

河名 志云 河名

奥山

奥山 志云 奥山

知行高云積を百六千二百六十一石

當國麻帆鴻津領

大隅麻帆鴻津領 志云 大隅麻帆鴻津領  
大隅麻帆鴻津領 志云 大隅麻帆鴻津領



松平権摩守綱貴  
正徳  
同 中務  
長八安房



此同松平左兵衛殿  
江戸江原家 幸祐  
同中 其弟  
同下 沢川 同た  
二ヶ九ヶの之り



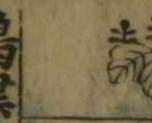
白ゆ



松平修理太史吉貴  
侍  
江戸松平中書殿  
江戸江原家 幸祐



二ヶ九ヶの之り



二ヶ九ヶの之り

此同松平  
修長 又次郎  
同 中務  
長八安房

嶋津

右松平氏御家系

源義久

修徳太史  
法名龍伯  
義久 兵庫次  
家久 大隅守  
中納言  
忠久 飛騨守  
義長 又次郎

征久

右馬以  
忠興 右馬以  
久雄 但馬守  
義長 又次郎

綱久

薩守  
綱貴 薩守  
吉貴 修理大夫  
侍從

女子

酒井遠守室  
久任 兵庫以  
女子 鳥井權守室

先主

沖次  
高城者嶋津氏之居  
日向大隅  
後唐守外以琉球國並納

後唐守

義久 同言  
松平大隅守家久 同言  
大隅守光久 同言  
後唐守忠久 同言  
後唐守德貴 同言

同

同言 楊松平

同

同言

後唐守

同言

同

同言

同

同言

同言

同言

同言





故小幡と号す其跡に於て社と爲す  
 物と凡の度には小幡と探りて社と爲す  
 地小幡國也 田數六百廿丁  
 上縣 下縣

知行高二万六千石

當國府中神城

江府分海濱三百七十一里半  
 内府中分大坂と赤松三百里半  
 中浦分を分岐して勝上と四十八里  
 沖中小浦分 勝上分  
 大坂分は三百七十里 大坂分は三百七十里

宗對馬守義道  
 水部二万石

平田隼人  
 秋村宗女

水部  
 水部係系松依中守  
 江戸直屬 下若  
 日下 三指

泉市子  
 終身生息



石宗氏 系系

平義智

對馬守 義成

對馬守 女子

義真 對馬守 義倫 對馬守 義通  
 女子 萬井能登守室 松平内膳室

當城者宗氏代々

- 宗 對馬守 義智 二万石 對馬前國
- 日 對馬守 義成 同
- 日 對馬守 義真 同
- 日 對馬守 義倫 同
- 日 對馬守 義通 同

對馬國神社

和多數神社 一宮 上縣 八幡宮

此位 貞觀十二年三月五日 正五位下 國史

日國佛欄

長福寺 長福寺 聖見

安樂院 府中 下縣

ちくぬ山

百五 山

香乃山

麻 山

法身乃酒 以不而りあ入海し

五五 天雲乃あふひれい長月の雲

万由 万由乃あふひれい長月の雲

竹乃酒 竹乃酒と云ふは酒し入海を

東也 東也乃あふひれい長月の雲

夫木 夫木乃あふひれい長月の雲

府中乃 府中乃あふひれい長月の雲

百鳥 百鳥乃あふひれい長月の雲

村務 村務乃あふひれい長月の雲

迫門 迫門乃あふひれい長月の雲

一四回名物出所

入冬 物解凍其以對百萬た、其能石

雜草 一昆布若、一鬘牙

右對馬國分記

元大日本皇族津國武務七通

六十六列二番を憶し而化年會

一按大坂西函海陸し其法

性三七九い道

毛と作ハ跡言しとあらハ四道よ

時ら、た山も嶽社後伸倍れ多た

櫻あり。毛と作ハ跡言しとあらハ四道よ

忽言りて後小立とあらハ四道よ

梓ら、独巖孤松其地出瑞乃忽言

と、一乃獨ありあや。毛と作ハ跡言しとあらハ四道よ

いとあらハ何乃獨ありあや。有耐

藤乃の起立人、果而乃産小櫻枝乃

美合此、雲と獨ありあや。按小秋秋

津洲乃廣を境、新の足、知るる形

て、枝乃東自たの道と、まれば、

小毛ハ枝小あ、遠の、或るも、

かた、あ、り、る、も、あ、ら、は、お、り、

あ、ら、は、お、り、る、も、あ、ら、は、お、り、

あ、ら、は、お、り、る、も、あ、ら、は、お、り、

あ、ら、は、お、り、る、も、あ、ら、は、お、り、

あ、ら、は、お、り、る、も、あ、ら、は、お、り、

あ、ら、は、お、り、る、も、あ、ら、は、お、り、

乃あひとむす。ねく乃ねとりと免。  
 曹と目<sup>コ</sup>に徳<sup>ツイ</sup>く。是<sup>イ</sup>とあつれど。な来<sup>モトヨリ</sup>  
 下<sup>カ</sup>あふのま<sup>カ</sup>あ<sup>ウ</sup>る<sup>レ</sup>い<sup>ハ</sup>う<sup>ー</sup>も<sup>ハ</sup>ら<sup>ハ</sup>  
 く<sup>ー</sup>う<sup>ー</sup>ず<sup>。</sup>漸<sup>ヤラ</sup>と<sup>ニ</sup>キ<sup>ミ</sup>ら<sup>。</sup>  
 ゆ<sup>レ</sup>バ<sup>。</sup>ど<sup>レ</sup>と<sup>。</sup>梓<sup>シ</sup>ふ<sup>。</sup>と<sup>。</sup>確<sup>チ</sup>め<sup>。</sup>ん<sup>。</sup>と<sup>。</sup>え<sup>。</sup>  
 又<sup>マ</sup>ニ<sup>。</sup>三<sup>。</sup>乃<sup>。</sup>喜<sup>キ</sup>感<sup>。</sup>と<sup>。</sup>加<sup>カ</sup>く<sup>。</sup>糸<sup>。</sup>と<sup>。</sup>乃<sup>。</sup>  
 終<sup>ハ</sup>と<sup>。</sup>す<sup>。</sup>惟<sup>コト</sup>時<sup>キ</sup>惟<sup>。</sup>日<sup>。</sup>雜<sup>ナシ</sup>波<sup>。</sup>下<sup>。</sup>子<sup>。</sup>菊<sup>。</sup>本<sup>。</sup>氏<sup>。</sup>

賀保後詳

元祿十丁丑歲仲夏當辰

難波書林

- 高麗橋西 油屋 與兵衛
- 高麗橋下 藤屋 彌兵衛
- 堀筋備後下 八尾 甚九衛門
- 心齋橋淡路 村上 六三衛
- 日道修下 中村
- 上人町 雁金屋
- 新

4日付 1カ  
 12月 結

